中部様式

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要(全体)

愛知県バス対策協議会

平成13年1月24日設置(生活交通の確保に関する地域協議会)

地域間幹線系統 令和元年6月28日 確保維持計画策定

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
事業評価票を運行主体が記載して関係自治体に回付, 作成する手法を取り入れ、 関係自治体間の情報・意見 交換に活用されていること を確認。	継続して実施。 事業評価票と同様、計画策 定にかかる調査票(生活交 通確保計画)の作成におい ても、運行主体が記載して 関係自治体に回付して作 成。	継続して実施。 事業評価票及び生活交通確 保計画の作成を通じて、自 治体間、自治体・事業者間 の意見交換や情報共有を促 進。
関係自治体の協議会においても、地域間幹線系統の利用状況等について情報交換を行う仕組みを構築し、好事例を自治体及び事業者間で共有している。	継続して実施。 事業評価票作成の依頼に併せ、市町村地域公共交通会 議において地域間幹線系統 の事業評価について議論されるよう助言。	継続して実施。 適宜、市町村地域公共交通 会議において地域間幹線系 統の利用状況等について情 報交換を実施。
地域間幹線系統については、 市町村への情報共有にとど まらず、関係する市町村担 当者や事業者を交えた路線 検討会を設置するなど、具 体的な検討を期待。	具体的検討の基礎資料とするため、県内バス路線の平 均沿線人口密度を算出。	左記調査の結果を活用し、 地域間幹線系統の維持・利 用促進の方策を調査・検討。

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
自治体と交通事業者が連携 した地域公共交通活性化事 業の実施など、広域連携事 業を展開されることを期待。	市町村等の先導的・先進的 な取組に対する助成や、M a a S 導入に向けた検討・ 調査などを実施。	継続して、市町村等の先導的・先進的な取組に対する助成や、MaaS導入に向けた取組などを実施。
引き続き「あいち公共交通 ビジョン」に基づいた関係 者の連携のもと、広域的な 公共交通ネットワークが構 築されることを期待。	ビジョンフォローアップ会 議を開催し、関係者の取削 関係ないたほか、 はいたはいかがいた。 がいたはいいでは、 がいたがいないでは、 がいたがいまれる。 がいたが、 がいたが、 がいたが、 がいたが、 がいたが、 がいたが、 がいたが、 がいたが、 がいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいたが、 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 は	市町村等の先導的・先進的 な取組に対する助成, 市町村バス対策担当者研究 会の開催、MaaS導入に 向けた取組などを実施。ま た、次期ジョンの策定に向 けて検討を進める。

«あいち公共交通ビジョンの策定»

(本県の現状)

- ・基幹的公共交通網は何とか維持されている状況
- ・自動車分担率が高く、増加傾向



社会経済状況の変化

あいちの公共交通の「課題」及び 「役割」の整理

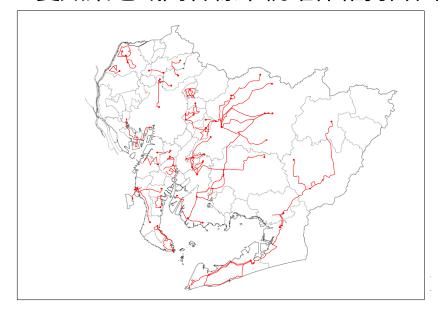
あいち公共交通ビジョン

基本理念

世界との交流を促進し、安心・快適な 暮らしを支える あいちの公共交通

~リニア開業を見据え、一層高まる交通ポテンシャルや、高度な先進技術を活かし、ローカルからグローバルまでの活発な交流と幸せな暮らしを支える利便性の高い公共交通ネットワークを形成~

«愛知県地域間幹線系統確保維持計画の策定»



<愛知県バス対策協議会>

・61系統を地域間幹線系統として位置付け

《◇◇猫圈別》

交通圏	系統数
名古屋	3
豊橋	8
岡崎	6
一宮	4
瀬戸・日進・豊明	8
東海·半田·大府·常滑·美浜	9
小牧·犬山·江南	3
津島・あま・弥富	2
刈谷·安城·碧南·西尾	11
豊田	14
新城	3

※複数交通圏に跨る系統はそれぞれに計上

≪運営主体別≫

運営主体	系統数
事業者	33
市町村	28

<運営主体や沿線市町村の取組>

主な実施主体	主な取組内容
運営主体(市町村・事業者)	○継続的な利用促進・地域のニーズに応じた運行ルート・ダイヤの検討○時刻表・路線情報等のGTFSデータ化、バスロケーションシステムの導入など、静的・動的なバス情報の整備○新型コロナウイルス感染症対策の周知
沿線市町村	○市町村イベント等でのバス乗り方教室や出張出前講座の開催、広報紙等による公共交通利用の啓発○利用者・住民アンケートを実施しニーズの把握○新型コロナウイルス感染症対策の周知

<協議会全体での取組>

○バス対策協議会幹事会における情報共有

・地域間幹線系統の自己評価において、前年度から収支率が大きく改善した取組を 運営主体から報告して貰い、グッドプラクティスとして情報共有

○市町村地域公共交通会議における(構成員としての)県の取組

・他市町村での取組事例の紹介や助言

<愛知県の取組>

- ○広域公共交通活性化推進事業
 - ・対流・交流促進による公共交通活性化に向けた検討

次期ビジョン(令和4年度~)策定に向けた基礎調査の一環として、県内バス路線の平均沿線人口密度を算出するとともに、新型コロナウイルスを正しく理解し、公共交通の安全・安心な利用を促進するためのセミナーを開催。

• 地域公共交通活性化推進事業費補助金

市町村等が地域公共交通において実施する、広域連携や先進的な取組に対し助成。

補助市町村等	取組内容
東三河地域公共交通活性化協議会	地域内の駅、バス停、観光スポット等を周遊する 謎解きイベントを実施
名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会	PR動画の作成、SNSによる情報発信、散策 マップの作成

○「標準的なバス情報フォーマット」作成研修会

市町村のオープンデータ化を支援するため、実機を使った研修会を開催。 (令和2年10月、30市町担当者が参加)

○ 市町村バス対策担当者研究会

令和2年度は、西三河地域(10市町)を対象に開催(座長:伊豆原浩二氏)。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策、GTFS化、キャッシュレス決済など、各市町が抱える 課題について意見交換。

○ バス事業者支援金制度の創設

乗合バス事業者の運行継続を支援するため、車両1台あたり10万円を交付。

○ MaaS導入に向けた取組

名古屋東部丘陵地域を対象に、MaaSの導入に向けた検討・調査を実施。



「標準的なバス情報フォーマット」作成研修会



公共交通活性化セミナー

<愛知県におけるフォローアップ>

○あいち公共交通ビジョンフォローアップ会議

有識者等によるフォローアップ会議を設置し、あいち公共交通ビジョンに掲げた基本方針に基づく各取組の進捗状況と今後の方向性について取りまとめ、県 H P に公表

<地域間幹線系統の評価>

○評価指標の設定

本県では、把握しやすく取組の成果がイメージしやすい年間利用者数を目標に設定

○評価指標の達成状況等

≪幹線系統全体の利用者数及び対前年推移別系統数≫

R2年度	R1年度	増減率			
4,717,460人	5,741,164人	17.8%減			

利用者の増減区分	系統数
増加 (105%~)	5(23)
横ばい(95~105%未満)	6(32)
減少(80~95未満)	27(4)
減少 (80%未満)	22(0)

≪目標実績別評価系統数≫

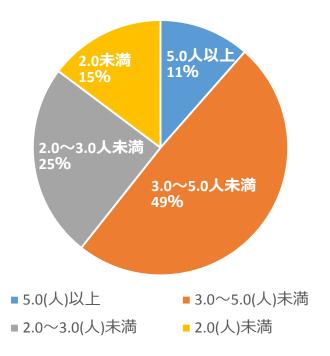
A評価	増加 (100%~)	11(40)
D = 17.4.E.	減少 (75~100%未満)	35(21)
B評価	減少 (50~75未満)	14(2)
C評価	半数減 (50%未満)	1(0)

※カッコ書きは前年の数値。

※新規系統を除く。カッコ書きは前年の数値。

- ◇新型コロナウイルスの影響により、大多数の系統において利用者数が減少。
- ◇しかし、新型コロナウイルス感染症拡大前においては、利用者数が前年並み、 または、前年比増の系統も多数あり。また、路線の見直しや利用促進施策に より、利用者数が増加している系統も一部ある。

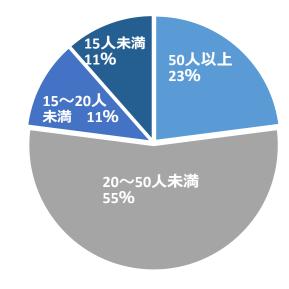
系統別平均乗車密度分布



系統別平均乗車密度							
5.0(人)以上	7(15)						
3.0~5.0(人)未満	30(34)						
2.0~3.0(人)未満	15(10)						
2.0(人)未満	9(4)						

※カッコ書きは前年の数値

系統別輸送量分布



- 50(人/日)以上
- 20~50(人/日)未満
- 15~20(人/日)未満
- 15(人)未満

系統別輸送量								
50(人/日)以上	14(14)							
20~50(人/日)未満	33(41)							
15~20(人/日)未満	7(7)							
15(人)未満	7(1)							

※カッコ書きは前年の数値

<課題>

- ◆継続して、地域間幹線系統の必要性・重要性を沿線市町村等に啓発することが必要
- ◆公共交通の安全・安心な利用をPRすることが必要
- ◆路線の維持、需要回復の取組が必要

<対応方針>

- ◆関係者間による情報共有・連携の促進
 - ・市町村地域公共交通会議、市町村バス対策担当者研究会など、様々な機会を 通じて働きかけを実施。
- ◆公共交通の安全・安心な利用をPR
 - ・継続して、県交通対策課HPにて、交通事業者の感染症対策や利用者への協力 のお願いを掲載するほか、令和2年度のセミナーの結果等を踏まえた啓発活動 を検討・実施。
- ◆公共交通の需要回復に向けた取組
 - ・市町村・事業者間での先進事例の情報共有を図るとともに、県としても、 需要回復や利便性向上などの取組を検討。
- ◆地域間幹線系統の維持・利用促進の方策検討
 - ・令和2年度の調査結果を活用し、方策を検討。

令和3年 1月18日

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 愛知県バス対策協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

	①補助対象事 ②事業概要		③前回(又は類似事業)				⑤目標·効果達成状況										
	業者	当等	(2) =	***/M*X	の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性	【計画目標指標:利用者数】 A:達成		輸送量(人)		収支率(%)		⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)		
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況			В	: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績		(IIII) XCLO
01名古屋	豊山町	あおい交通㈱	48 タウンバス (南ルート)	航空館boon~ 名古屋栄	他の路線バスを補完できるよう利便性の向上や利用促進を図るため、公主要施設や関係機関等での配布、転入者への配布が、転入者への配布が、転入者への配布が、転入者への配布が、転入者への配布が、を発品を配布することにかり、町民の対しても公共交通のPRを行った。	А	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:67,000 実績:50,626(75.5%) ※前年度比78.9% H27年度以降、前年度利 用者数を割り込んでいる。 利用者の転勤や進学など が利用者減の原因と推察 される。今後も推移を注視 する必要がある。	33.4	25.0	2.0	12.5	38.4	25.0	のハス庁からの来降各の多くは、	利用者数が4年連続で前年度 を下回り、目標数値を達成する ことができなかった。豊山町の 公共交通の利便性を認識して いない町民がまだ多いため、 引き続き利便性の向上やPR に努める必要がある。
01名古屋 07小牧・ 犬山・江 南	あおい交通㈱	あおい交通㈱	47 豊山幸田・ 勝川	豊山幸田~勝 川駅前	沿線商業施設に公共交通マップを配架する、また、グーグルマップの経路検索に対応するなど、PRに対線の豊山町内を運行するバス路線を掲載した公共交通マップを更新・作で公共交通マップを更新・作で公共交通利用促進のPRを行った。	_	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:72,000 実績:58,675(81.5%) ※前年度比73.9% 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少したが、勝川駅から三菱動手段として、利用されている。名古屋空港利用者やエアポートウォークでの買い物客の利用も多い。	73.8	33.2	2.7	12.3	102.9	49.3	4,800人で全体の95%を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊山町内や春日井市内だけの利用者はほとんどいない。 《地域的・フィーダー的系統》	名古屋空港やあいち航空 ミュージアムの利用者の回復 が重要な課題であり、関係市 町や事業者と情報共有、調整 を行い、利便性の向上等に取 り組む。沿線の豊山町では引 き続き、公共で通マップを作成 し、広報やイベント等での利用 促進PRに取り組む。
01名古屋 08津島・ あま・弥 富	飛島村	三重交通㈱	54 飛島公共 交通バス (名港線)	名古屋港~名古屋港	今後のダイヤ改正に向けて、利用者アンケート等、 ニーズの把握を行った。 沿線の名古屋市では、転 入者に配布する冊子に交 通エコライフに関する記事 を掲載するなど、公共交 通の利用促進を実施した。	Α	補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施 された。	В	目標:118,000 実績:104,371(88.5%) ※前年度比88.1% 新型コロナウイルスの影響により、通勤目的での 利用が減少したと思われる。	58.5	56.1	4.6	12.2	41.2	38.3	海部への連動手段として利用されている。 《広域的·幹線的系統》 飛島村公共交通バス(蟹江線)、名士屋市営地下4年 まむたみ線	令和2年10月からダイヤを改正し、沿線企業従業員の移動手段の確保や利便性向上を図る。また、ホームページへの掲載、チラシ配布、イベント時におけるPR活動のほか、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会においても周知を図る。名古屋市では、引き続き、交通エコライフの取組を進める。
02豊橋	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	27 伊良湖支 線(福祉C 堀切)	渥美病院~保 美 【車両減価償却 費等国庫補助 金の交営業所に 2台他系統と共 通)	田原市内の高校生を対象 に定期券出張販売を実施。また、赤羽根地区において高齢者を対象とした 市政ほーもん講座で田原市とともに利用促進に努めた。田原市では全和用保進に不 年9月から市内高校生へ の通学定期券の購入助成を実施した。	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:53,556 実績:48,861(91.2%) ※前年度比84.3% 昼間帯において起点の渥 美病院の利用者(主に高 齢者)が減少したと考えら れる。	26.5	21.3	2.6	8.2	46.6	35.3	れる。起原にのる歴美病院への通院や鉄道駅(三河田原駅)の利用、 治線学校への通学利用が大部分と 考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (田原市)ぐるりんパス(市街地線、 童浦線、サンテパルク線)、(田原原 ま)ぐスリスティズ・東に線の中間。	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせて、GTFS化を行い、利便性向上を図る。また、沿線の田原市では令和元年9月から行っている市内高校生への通学定期券の購入助成を継続して実施するとともに、中学生・高校生を対象とした利用促進事業(パンフレット配布等)を実施する。

	①補助	対象事	② E	事業概要	②前同(又は叛似事業)				(6	り目標・ダ)果達成	大沢					
	業者	等	(2) =	芦禾似女	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		計画目標指標:利用者数】 :達成		輸送	量(人)		収支	椞(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況 			В	: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	+1 4001010000 000 1211	(MID 4-)CC II O
02豊橋	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	30 伊良湖本線(渥美病院福祉C明神)	渥美病院~伊良湖 (東南減価償却 電等の変質素が (アリカリア) (アリカリア) (アリア) (アリア) (アリカリア)	伊良湖岬方面の宿泊施設に、割引きつぶを掲載した、 利用促進パンフレットを配 利用促進パンフレットを配 有した。田原市では、令和 元年9月から市内高校生へ の通学定期券の購入助成 を実施した。	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標: 44,235 実績: 34,562(78.1%) ※前年度比77.6% 沿線高校の登校時間に合わせたダイヤで運行しており、田原駅で乗り換えし、豊橋市と田原市を相互に通学する利用者が、大幅に減少したと考えられる。	22.9	14.5	3.3	4.4	59.0	45.2	で全体の76.1%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。起点にある渥美病院への通院や鉄道駅(三河田原駅)の利用、沿線学校への通学利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (旧原市)ぐるりんパス(市街地線、童浦線、サンテパルク線、(田原市)ぐ	GTFS化を行い、利便性向上を図る。 また、沿線の田原市では令和元年9月から行っている市内高校 生への通学定期券の購入助成を継続して実施するとともに、中学生・高校生を対象とした利用
02豊橋 11新城	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	31 新豊	豊橋駅前~新 城富永 【車両減価償却 費等国庫補助 金の交付業所に 3台他系統と共 通)		Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。		目標:139,518 実績:131,577(94,3%) ※前年度比82.7% 昼間帯において、豊川市 民病院への通院やイオン 豊川店への買い物での利 用者が減少したと考えら れる。	34.7	30.6	4.4	9.0	44.6	38.8	り、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊橋市と豊川市相互間の通動利用や買い物利用、また、豊川市外からの豊川市民病院への通院利用が多いと考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 豊鉄バス豊橋市内路線、豊橋市コ	令和3年3月のバスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。また、沿線の豊川市では、google始めコンテンツプロバイダへ一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外からの来訪者の利便性の向上を図る。豊橋市では、公共施設等への時刻表の配布やイベント等でのPRに努めていく。
02豊橋	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	32 伊良湖本 線豊橋休 暇村明神)	豊橋駅前~伊 良湖岬 【車両減価償却 費等国庫補助 金の交付業所に 2台他系統と共 通)	マップを配布し、田原市では		補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	Α	目標:104,866 実績:108,272(103.2%) ※前年度比91.8% 前年度に比べて、通学利 用者や観光利用者(主に 豊橋市と田原市を跨ぐ)が 減少したと考えられるが、 通勤・通学・買物等の目的 で利用されている。	29.6	27.6	3.5	7.9	45.3	40.1	三河田原駅/の利用、沿線子校への 通学利用が大部分であると考えられ る。 《地域的・フィーダー的系統》 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コ ミュパス・(四原市)でありよいで、(四	田原市内の高校生が減少しているなかで、生活交通路線として 安定的な路線の維持に努めてい く。また、令和3年3月のバスロ ケーションシステムの導入に合 わせて、GTFS化を行い、利便性 向上を図る。沿線の田原市では 市内高校生への通学定期券の 購入助成を継続して実施するほ か、豊橋市では転入者等に公共 交通マップを配布する。
02豊橋	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	33 伊良湖本 線院運河前 原京駅前 集)	渥美病院~保 【車両減価償却 費の交付業所と 金の支営業所に 2合他系統と共 通)	校生を対象に定期券出張	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	Α	目標:88,381 実績:94,127(106.5%) ※前年度比99.6% 他の並行して運行している系統とあわせて、推移を注視していく必要があるが、沿線高校の通学利用者が他系統から移ったため、コロナ禍においても前年度と同水準を維持できたと思われる。	45.9	48.2	3.6	13.4	50.4	53.7	域的な路線の役割を果たしている と考えられる。渥美病院への通院、 鉄道駅(三河田原駅)の利用、沿線 学校への通学利用が大部分と考え られば、 (地域的・フィーダー的系統) ((田原市)ぐるりんバス(市街地線、	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせて、 GTFS化を行い、利便性向上を図る。 田原市では令和元年9月から行っている市内高校生への通学定期券の購入助成を継続して実施するとともに、中学生・高校生を対象とした利用促進事業(パンフレット配布等)を実施する。
02豊橋	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	34 豊川(豊川 駅前)	豊橋駅前~豊川駅前~間駅間 (車両減価償却費金の対域で業所に3台他系統と共通)	載したほか、GTFSデータの 整備を行った。また、単極市	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:43,193 実績:39,482(91.4%) ※前年度比89.3% 他の豊川線2系統と合算で評価する必要があり、豊川線3系統合算の利用者数は前年比86.4%であった。本系統は主に朝晩に運行するダイヤであり、通動利用者が減少したと考えられる。	18.4	16.8	2.9	5.8	59.2	52.9	全体の28.2%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊橋市及び豊川市相互間の通勤利用や買い物利用、豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コ	性向上を図る。沿線の豊川市では、googleをはじめとしたコンテンツプロバイダへ一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外民の利用利便性の向上を図る。 豊橋市では、公共施設等へ時

	①補助	対象事	② E	事業概要 「	③前回(又は類似事業)				Œ	目標・ダ	効果達成	状況					
	業者	等	Ø=	P 未似女	の事業評価結果の反映		④事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 A:達成		輸送	量(人)		収支	椞(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況 			E	B:未達成 C:目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	114441411	(17,101)(210)
02豊橋	豊鉄バス㈱	要鉄バス㈱	35 豊川(豊川 市民病院 豊川駅前)	(新城営業所に	豊川市内の沿線住民に、地域密着型の時刻表を配布し、利用促進に努めた。また、独自親光チラシを作成し、豊橋駅前のバスセンターに継続して設置した。豊川市では、大スマップやHPへ時刻表を掲載したほか、GTFSデータの整備を行った。また、豊橋市では転入者や市内施設へ公共交通マップを配布した。	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	川株3糸航台昇の利用者 数は前年比86.4%であった。朝・晩の利用者がり、通勤・豊川市民病院の利用者が減少したと考えられる。	46.8	39.3	3.0	13.1	62.1	53.8	市を跨ぐ利用者は、月平均2,850人で全体の29.0%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊橋市及び豊川市相互間の通動利用や買い物利用、豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 豊鉄パス(豊橋市内路線)、豊橋コミュパス、豊川コミュパス	令和3年3月よりバスローケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。沿線の豊川市では、googleをはじめとしたコンテンツブロバイダへ一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外民の利用利便性の向上を図る。豊橋市では、公共施設等へ時刻表の配布やイベント等でのPRに努めていく。
02豊橋	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	36 豊川(豊川 市民病院)	豊橋駅前〜豊川市民病院 【車両減価償却費等国庫補助金の交付業別に (新城営業所に 3台他系統と共通)	豊川市内の沿線住民に、地域密着型の時刻表を配布し、利用促進に努めた。また、独自観光チラシを作成し、豊橋駅前のバスセンターに継続して設置した。豊川市では、バスマップやHPへ時刻表を掲載したほか、GTFSデータの整備を行った。また、豊橋市では転入者や市内施設へ公共交通マップを配布した。	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	川株3条成15昇の利用名 数は前年比86.4%であった。屋間時間帯の落ち込 た。屋間時間帯の落ち込 みが少なく、起点の豊川 市民病院の利用者(主に 高齢者)が一定程度あっ	23.7	19.8	3.9	5.1	72.2	68.7	市を跨ぐ利用者は、月平均2,220人で全体の43.0%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊橋市及び豊川市相互間の通勤利用や買い物利用、豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミュバス、豊川コミュバス	令和3年3月よりバスローケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。治線の豊川市では、googleをはじめとしたコンテンツプロバイダへ一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外からの来訪者の利便性の向上を図る。豊橋市では、公共施設等へ時刻表の配布やイベント等でのPRに努めていく。
03岡崎 10豊田	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	01 大沼	東岡崎~大沼	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデタ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップトで、公の掲載や市のイベントで、イスの乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。	Α	台風19号による暴風雨のため7便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:62,500 実績:39,729(63.6%) ※前年度比65.2% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比101.0%。 停留所の中で、特に新興 住宅が多い真伝町の減少 が大きく、企業のリモート ワークが進み、通勤利用 者が減少したと考えられ る。	20.1	10.4	1.9	5.6	39.1	18.4	市を跨ぐ利用者は、月平均330人で全体の約9%を占める。その内訳は、通学定期27.3%、ゴールド・シルバー・得々パス18.2%、現金・IC SF(定期以外)45.5%である。鉄道(東岡崎駅)の利用、沿線学校への通学、中心市街地部への買い物等の利用者が大部分と考える。《地域的・フィーダー的系統》しもやまバス	HP、スマートフォンでの時刻検索、バスロケーションシステムの提供、コンテンツブロバイダへのデータ提供を行う。また、高齢者用定期券ゴールド・シルバーパスのPRを積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図る。沿線の岡崎市では、公共交通マップの作成・配布や感染対策等の安全性の周知、豊田市ではバスマップやHPなどへの路線情報の掲載により、利用促進を図る。
03岡崎 10豊田	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	02 岡崎·足助	東岡崎~足助	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマッシトでバスの乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。	Α	雨量規制による通行止で 16本の運休と、台風19号 による暴風雨のため11便 が運休となったが、それ以 外は所定の事業計画どお りの運行が実施されてい る。	В	目標:154,800 実績:107,246(69.3%) ※前年度比78.3% 令和元年10月~令和2年2	36.8	28.8	3.6	8.0	56.2	32.9	市を跨ぐ利用者は、月平均1,170人で全体の13.1%を占める。通勤定期15.4%、通学定期46.2%、ゴールド・シルバー・得々パス17.9%、現金、ICSFの定期外20.5%。通学利用の比率が高い。鉄道駅(東岡崎)の利用者、岡崎市内への通学、通院、買物利用者が大部分と考えられる。《地域的・フィーダー的系統》 おいでんパス(旭・足助線、稲武・足助線、さなげ・足助線)	岡崎市内の需要の多い区間で 利用者数を稼いでいるが、広 域幹線的な利用の減少傾向は 進んでいる。足助地区など観 光目的の需要もあるが、現行 の運行本数を維持する続き、沿 線市と連携した利用促進を図 りながら、利用実態に合わせた 運行計画を行い、効率性の向 上に努める。
03岡崎 09刈谷・ 安城・碧 南・西尾	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	05 岡崎·安城	東岡崎〜安城駅前	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供やコンデンツプロバイダへのデータ提供により、利雨ではバスの乗り方教室の開催などにより、利用促進を図った。	А	台風19号による暴風雨の ため16便が運休となった が、それ以外は所定の事 業計画どおりの運行が実 施された。	В	目標: 48,400 実績: 44,893(92.3%) ※前年度比96.3% 令和元年10月~令和2年2 3 月までは前年比104.7%。 停留所の中で、特にJR安 城駅の減少が大きく、企 業のリモートワークが進 み、通勤利用者が減少したと考えられる。	23.3	18.3	1.5	12.3	26.0	21.5	市を跨ぐ利用者は、月平均1,110人で全体の28.0%を占める。通勤定期24.3%、ゴールド・シルバー・得外パス5.4%、現金、ICSFの定期外の3%。鉄道駅、東岡崎、安城駅)の利用者、沿線にある病院への通院、中心市街地部への買物利用が大部分と考えられる。《地域的・フィーダー的系統》、名鉄バス(安城線)、あんくるバス(循環線、安城線、東部線、西部線、作野線)	再編により改善された定時性 の確保、及び今後も安定した 運行による利用者利便の向上 に努める。また高齢者用定期 券ゴールド・シルバーパスのP Rを積極的に実施し、昼間帯の 利用促進を図る。

	①補助	対象事	@=	5 类 柳	**************************************				(〕目標·ダ	効果達成	状況					
	業者		(2)=	 事業概要	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	④事	事業実施の適切性		計画目標指標:利用者数】		輸送	量(人)		収支	枢(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	- 状況			В	: 達成 : 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	- FTが水がルとしての「又市」	(1可比学・役で占む)
03岡崎 09刈谷・ 安城・碧 南・西尾	名	名鉄東部交通㈱	44-1 岡崎・西尾	東岡崎~西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせて、 大学の大学では、利用ない、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	A 計画	助対象期間の開始日か 重休はなく、所定の事業 画どおりの運行が実施 いた。	В	目標:176,994 実績:107,924(61.0%) ※前年度比60.4% 2系統合算前年度比 68.0% 主に通院・通学等に利用 されている路線であり、新 型コロナウイルスによる移 動需要の変化により、利 用者数が大幅に減少して いると考えられる。	73.4 44.1	63.3 33.2	4.4 3.5	日 奴) 14.4 9.5	77.8	72.6 47.1	市を跨ぐ利用者は、月平均1.978人で全体の20%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考える。岡崎市から西尾市への通勤・通学等の交通手段として利用市への通勤・通学利用としても使われている。《地域的・フィーダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市) たった万石くありんパス、(西尾市) いこまい	藤田医科大学系統を新設したが、その動向をみつつ、改善 余地がないか検討する。また、 岡崎市では、デマンド型乗の クシーとの乗継利便性や感染 対策等の安全性の周知など、 西尾市では、増加傾向にある 外国籍住民を対象にした多言 語対応のパンフレット配布など を行う。
03岡崎 09刈谷・ 安城・ 南・ 西尾	名鉄東部交通㈱	名鉄東部交通㈱	44-2 岡崎・西尾 (藤田医科 大学留セン ター)	藤田医科大学 岡崎医療セン ター〜西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせて学 一開業に合わせて実態に沿うとともに新たなエーズの取り込みに努めた。沿線の岡崎市ではバベント等で近隣市市開知ででが成マップをで記ずして高い、。西尾市で出げないなマップをでは、一個大交通開産の開催、通学定期間、市内の均一運賃化	A 計画	助対象期間の開始日か 所定の事業 画どおりの運行が実施 いた。	_	目標:一 実績:13,603 2系統合算前年度比 68.0% 病院利用者の利用が抑え られたことや、新系統の周 知が不足していたことが 考えられる。	30.3	17.5	2.7	6.5	1	37.6	考える。岡崎市から藤田医療センターや西尾市への通勤・通学・通院等の交通手段として利用されているほか、西尾市から岡崎市への通勤・通学利用としても使われてい	
03岡崎 09刈谷・ 安城・碧 南・西尾	名鉄東部交通㈱	名鉄東部交通㈱	45-1 岡崎·西尾 (西尾市民 病院)	岡崎駅西口~ 若松町~西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせ日本 ・ では、利用ない。 ・ では、利用ない。 ・ では、利用ない。 ・ では、利力をともに新たい。 ・ では、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、が、ではイベント等で近常し、同かし、にない。 ・ では、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	A ^{ら運} 計画	助対象期間の開始日か 重休はなく、所定の事業 画どおりの運行が実施 いた。	В	目標: 69,216 実績: 43,063 (62.2%) ※前年度比64.3% 2系統合算前年度比 81.8% 主に通院・通学等に利用 されている路線であり、新 型コロナウイルスによる移動需要の変化により、利 用者数が大幅に減少して いると考えられる。	33.6 14.4	33.6 14.0	3.5 3.5	9.6 4.0	69.0	64.4 56.3	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人で 全体の約26%を占めており、広域的 な路線の役割を果たしていると考え る。JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ 市域を跨ぐ路線であり、沿線には西 尾市民病院、西尾東高校があり通 院、通学の足として地域住民の移動 手段を確保している。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、 平坂・中城泉)、(西尾市) 六万石〈る りんパス、(西尾市) いこまいか一	藤田医科大学大系統を新設し たが、その動向をみつつ、改善 余地がないか検討する。また、 岡崎市では、デマンド型乗合タ クシーとの乗継利便性や感染 対策等の安全性の周知なる 西尾市では、増加傾向にある 外国籍住民を対象にした多言 語対応のパンフレット配布など を行う。
03岡崎 09刈谷・ 安城・碧 南・西尾	名鉄東部交通㈱	名鉄東部交通㈱	45-2 岡崎·西尾 (西尾市民 病院)	岡崎駅西口~ 学 藤田医科大学 岡崎と療を ター~ 西尾	藤田医科夫学岡崎医療センター開業に合わせ田子学岡崎医療センター開業に合わせ田実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みに召録の岡崎市町のが入り、今で近れ、スップを配布し周知を高齢者向けに公共交通出前諸補助を行い、バスの利便性	A 計画	助対象期間の開始日か 種体はなく、所定の事業 画どおりの運行が実施 れた。	_	目標:一 実績: 11,723 2系統合算前年度比 81.8% 主に通院・通学等に利用 されている路線であり、新 型コロナウイルスによる移 動需要の変化により、利 用者数が大幅に減少して いると考えられる。	27.3	16.7	2.3	7.3		36.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人で 全体の約26%を占めており、広域的 な路線の役割を果たしていると考え る。JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ 市域を跨ぐ路線であり、沿線には西 尾市民病院、西尾東高校があり通 院、通学の足として地域住民の移動 手段を確保している。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、 平坂・中畑線)、(西尾市) 六万石〈る りんパス、(西尾市) いこまいか一	藤田医科大学系統を新設したが、その動向をみつつ、改善余地がないか検討する。また、岡崎市では、デマンド型乗合タクシーとの乗継刊便性や感染対策等の安全性の周知なるの所国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布などを行う。
03岡崎 09刈谷・ 安城・西尾	安城市	東伸運輸㈱	61 あんくるパ ス(東部線)	北部福祉セン ター〜北部福 祉センター	利用促進のためのチラシ 等を配布する際に、おす すめプランを掲載するな ど、できるだけ分かりやす く気軽にバスを使ってもら えるように情報提供を行っ た。また、Googleマップの 経路検索に対応し、利便 性向上を図った。	ため が、 A 幅な 業計	風19号による暴風雨の か8便が運休となった 、それ以外は運休や大 な遅延もなく、所定の事 計画どおりの運行が実 されている。	В	目標:31,000 実績:26,025(84,0%) ※前年度比74.4% 令和2年2月までは、前年並の利用者数で推移していたが、3月以降、新型コロナウイルスの影響により減少した。4、5月は前年比約4割まで減少していたが、9月には前年比約7割まで回復した。	28.9	26.9	3.9	6.9	11.1	8.3	市を跨ぐ利用者は184人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、鉄道駅への乗換利用や、通勤、飲食・娯楽等のためお出掛け利用者が多いと考えられる。《地域的・フィーダー的系統》名鉄バス安城線、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線)	バスロケーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握や 乗降調査による交通需要通に関する知識の向上や利用に対す る意識の商成に向け、モビリ する知識の醸成に向け、モビリ ティ・マネジメントのための資料 を作成し、乗り方教室等の利 用促進する岡崎市では公共交通 マップの作成・配布や感染対 策等の安全性の周知を図る。

	①補助	対象事	(a) T	事業概要	②並同(五は叛似事業)				(E	〕目標・落	効果達成	状況					
	業者	音等	(∠)=	P未 似 安	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 :達成		輸送	量(人)		収支率	極(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	·			В	: ・	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	- 「中水水帆としての 又回	(1916年英色日份)
04一宮	上一宮市	名鉄バス㈱	14 iバス(- 宮コース)	木曽川庁舎~ 市民病院	バスマップの配布、1日乗車券の発売、及びiーバスの情報のGTFS化により、利用促進を図った。また、バス停と離れた地域を結ぶ予約制乗合タクシーバスミニ)の運行により、バスの利便性向上を図った。	Α	台風接近による影響で8本 が運休となったが、その他 は所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:93.576 実績:70.871(75.7%) ※前年度比73.0% 一宮市民会館の利用者が大幅に減少。施設の臨時休館・一部サービスの休止や外出控えの影響と推測される。R1.10からR2.1までは前年比103%に対し、R2.2からR2.9までは前年比59%。この状況下でも、生活必需品の購入や通院のため、高齢者に利用された。	38.1	29.8	2.9	10.3	42.8	27.7	一宮市と旧尾西市・旧木曽川町を 跨ぐ利用者は2,800人/月と推定され、全体の47%を占め、広域的な 路線としての役割を果たしていると 考えられる。総合病院及び一宮駅 への利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 iーバス(尾西北コース、木曽川・北 方コース)、ニコニコふれあいバス、 千秋ふれあいバス	ー宮駅~市民病院間は路線バスと競合しているため、利用者ニーズに合ったより効率的な運行方法への改善・検討が必要。バスマップの配布、1日乗車券の発行及び、高齢者向けの講座や教室でのバスのPR等により、引き続き利用促進を図る。また、バスで行ける施設案内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できるよう利便性の向上を図る。
04一宮	一宮市	名鉄バス㈱	15 iーバス(尾 西南コー ス)	萩原駅~萩原 駅	バスマップの配布、1日乗車券の発売、及びiーバス の情報のGTFS化により、 利用促進を図った。また、 バス停と離れた地域を結 ぶ予約制乗合タクシー(i- バスミニ)の運行により、 バスの利便性向上を図っ た。	Α	台風接近による影響で5本 が運休となったが、その他 は所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:38,054 実績:32,306(84.9%) ※前年度比87.4% 尾西記念病院の利用者数が 大幅に減少しており、通院や 面会を控えたと推測される。 RI.10からR2.1までは前年比 111%に対し、R2.2からR2.9ま では前年比76%。この状況下 でも、生活必需品の購入や通 院のため、高齢者に利用され た。	33.5	31.2	4.0	7.8	10.8	8.5	一宮市と旧尾西市を跨ぐ利用者は、月平均740人と推定され、全体の27%を占め、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。病院への通院及び萩原駅への鉄道接続の利用が大部分と考えられる。《地域的・フィーダー的系統》iーパス(尾西北コース)、iーバスミニ	平成27年10月に地域全体を便利な往復運行にする等の見直しを行い、利用者は増加したが、最近は鈍化傾向である。バスマップの配布、1日乗車券の発行及び、高齢者自けの講座や教室でのバスのPR等により、引き続き利用促進を図る。また、バスで行ける施設案内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できるよう利便性の向上を図る。
04一宮	中宮市	名鉄バス㈱	16 iーバス(木 曽川・北方 コース)	木曽川庁舎~ 木曽川庁舎	バスマップの配布、1日乗車券の発売、及びiーバス の情報のGTFS化により、 利用促進を図った。また、 バス停と離れた地域を結 ぶ予約制乗合タクシー(i- バスミニ)の運行により、 バスの利便性向上を図っ た。	Α	台風接近による影響で5本 が運休となったが、その他 は所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:24,100 実績:15,557(64.6%) ※前年度比73.9% 高齢者施設、体育館、図書館 等での減少が目立ち、施設 の臨時休館や外出控えの影響と推測される。R1.10から 居2.1までは前年比100%に対 し、R2.2からR2.9までは前年 比62%。この状況下でも、生 活必需品の購入や通院のた め、高齢者に利用された。	17.6	14.0	1.6	8.8	8.2	5.7		現在の利用者数の維持に向けて、バスマップの配布、1日乗車券の発行及び、高齢者向けの講座や教室でのバスのPR等により、引き続き利用促進を図る。また、バスで行ける施設案内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できるよう利便性の向上を図る。
04一宮	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	08 一宮・イオ ン木曽川	名鉄一宮〜イオン木曽川	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、バスマップの作成や1日乗事券の発行など、利用促進に努めた。	Α	台風接近による影響で7本 が運休となったが、その他 は所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:79,700 実績:59,145(74.2%) ※前年度比75.8% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比107.4%。 停留所の中で、特にイオンモール木曽川の減少が 大きく、店舗休止などに伴 い、通動・買物利用者が 減少したと考えられる。	30.4	25.2	2.4	10.5	47.4	32.4	が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》	ー宮駅とイオンモール木曽川に酷似した名称の停留所が複数あり、利用者にとってわかりにくいため、令和3年4月に停留所名称を変更予定。また、高齢者用定期券ゴールド・シルバーパスのPRを積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図るとともに、沿線市と連携して、1日乗車券の発行などを行う。
05瀬戸・ 日進・豊 明	日進市	名鉄バス㈱	25 くるりんば す(梅森線)	市役所~東名 古屋病院~市 役所	これまでに実施したOD調査や市民アンケート結果の精査、市民委員を選りた検討会等を通じ、課項題の把握・整理を行い、有力では、また、観光需要促進のため、市内出身の有名声を起用したバス車内放送を使用したイベントを実施した。		事業計画どおりの運行回 数が確保されている	В	目標:50,353 実績:36,476(72.4%) ※前年度比82.3% 令和元年10月~令和2年2 月までの利用者数は前年 比102%と増加していた が、その後新型コロナウイ ルスの影響により減少し た。東名古屋病院への通 院目的で利用されている。	18.6	12.7	1.3	9.8	14.5	10.1	市を跨ぐ利用者は全体の8%程度であるが、当該路線は日進市西部と赤池駅を結ぶ路線であり、多数の利用者が鉄道を利用しており、市域を超えた移動を支える非常に重要な路線である。また、東名古屋病院への通院利用も推測される。《地域的・フィーダー的系統》くるりんばす	ため、路線の部分修正、全線 再編に向けて、利用者のニー

	①補助	対象事	<u> </u>	事業概要	②共同(五件数似事業)				(5目標・落	効果達成	状況					
	業者	皆等	(∠)=	尹未似安	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		計画目標指標:利用者数】 :達成		輸送	量(人)		収支	枢(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営主体	運行 事業者	系統名	運行区間	· 状況			В	: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	TI WAS ACTUAL COST OF THE PROPERTY OF THE PROP	(17107-2007
05瀬戸・ 日進・豊 明	日進市	名	26 くるりんば す(五色園 線)	市役所~長久 手古戦場駅~ 市役所	これまでに実施したOD調査や市民アンケート結果の精査、市民委員と説明を対対を対対を要すを行い、再の把握・整理を行い、再つた。また、観光需要促進のた後、市内出身の有名声を起用したバス車内をを使用したイベントを実施した。		事業計画どおりの運行回 数が確保されている	В	目標:78,777 実績:57,999(73.6%) ※前年度比80.4% 令和元年10月~令和2年2 月までの利用者数は前年 比106%と順調に増加していたが、その後新型コロナウイルスの影響により減少した。沿線商業施設へ の買い物目的で利用されている。	21.5	18.6	1.9	9.8	14.2	10.5		路線の部分修正、全線再編に向けて、利用者のニーズに 治った計画を検討・策定する必要がある。 治線の長久手市では、OD調査 中一ズを把握し、日進市及び 交通事業者と連携して、最適な 路線構築を図る。
05瀬戸・ 日進・豊 明	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	06 日進中央	赤池駅~長久 手古戦場駅	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供を行った。 沿線の日進市では市内コミュニティバスとともにGT FSデータの更新を実施した。	Α	台風19号による暴風雨の ため20便が運休となった が、それ以外は所定の事 業計画どおりの運行が実 施された。		目標:130,300 実績:109,289(83.9%) ※前年度比85.3% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比102.9%。 停留所の中で、特に愛知 想徳大学南の減少が大き く、大学のリモート授業が 進み、通学利用者が減少 したと考えられる。	63.0	52.5	3.5	15.0	58.3	45.6	移動の軸となっている。交通結節点同士を結ぶ他、コミュニティバスとも	市では、アンケート調査等により課題の抽出を行う。長久手市では、引き続きイベントを開催し、公共交通に触れる機会を
05瀬戸・ 日進・豊 明 10豊田	名鉄バス㈱	名	07 星ヶ丘・豊 田	赤池駅〜イオ ン三好店アイ モール前	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供を行った。市役所窓口や沿線町のコミュニティセンターに時刻表を配架し周知に努めた。	Α	台風19号による暴風雨のため10便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:40,100 実績:28,834(71.9%) ※前年度比73.6% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比93.6%。 停留所の中で、特に赤池駅の減少が大きく、企業 切りモートワークが進み、 通勤利用者が減少したと 考えられる。	16.9	14.3	2.2	6.5	42.3	28.8		高齢者定期券ゴールド・シルパーパスのPRを積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図る。また、赤池駅、東郷町の大型・商業施設開業後の利用状況等について、沿線市町と情報共有し、路線のあり方について協議する。
05瀬戸・ 日進・豊 明	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	10 愛知医科 大学病院	長久手古戦場 駅〜尾張旭 向ヶ丘	HP、スマートフォンでの時 対検索システム、バスロ ケーションシステムの提供 や、コンテンツプロバイダ へのデータ提供を行った。 また、沿線市のバスマップ 等に路線情報の掲載や沿 線市によるイベントでルートマップ等を配布するなど 利用促進に努めた。	Α	台風19号による暴風雨のため12便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:56,500 実績:45,420(80.4%) ※前年度比84.0% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比96.1%。 停留所の中で、特に尾張 旭駅の減少が大きく、沿 線の愛知医科大学病院の リモート授業が進み、通学 利用者が減少したと考え られる。	20.6	15.4	1.2	12.9	22.7	16.8	の定期外利用者が83.6%で、市外	開設当初より路線の周知に努めてきたが利用者の増加には繋がっていない。関係自治体や大学、高校と連携したPRが必要である。高齢者定期学である。高齢者定期学でを積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図るほか、沿線市とともに時刻表を作成し、ホームページ等を使った周知、市イベントでのPRなど利用促進を図る
05瀬戸・ 日進・豊 明	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	11 本地ヶ原	藤が丘〜瀬戸 駅前	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供を行った。また、沿線市のバスマップ等に路線情報の掲載や沿線市によるイベントでルートマップ等を配布するなど利用促進に努めた。	Α	台風19号による暴風雨のため13便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:117,000 実績:90,393(77,3%) ※前年度比78.3% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比100.5%。 停留所の中で、特に尾張旭 駅の減少が大きく、沿線の 愛知医科大学病院のリモー ト授業が進み、通学利用者 が減少したと考えられる。	41.3	31.5	3.9	8.1	74.3	52.2	期外が86.1%と多い。瀬戸市民、尾張旭市民、長久手市民の名古屋市内や愛知医大への移動手段としての利用が考えられ、藤ヶ丘駅から愛知医科大学病院への通院利用が多い。《地域的・フィーダー的系統》(尾張旭市)あさぴー号、瀬戸市コミュニティバス、(長久手市)Nーバス、し	開設当初より路線の周知に努めてきたが利用者の増加には繋がっていない。関係自治体や大学、高校と連携したPRが

	①補助	対象事	<u> </u>	声光 柳						う目標・3	効果達成	状況					
	業者	等	(∠)=	事業概要	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		計画目標指標:利用者数】		輸送	量(人)		収支	率(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	· 状況			В	: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	+14000000000000000000000000000000000000	(MBF)XCIO)
05瀬戸・ 日進・豊 明	尾張旭市	豊栄交通㈱	52 尾張旭市 営バス(東 ルート)	市役所 ~ イトー ヨーカドー前 ~ 市役所	休日ダイヤを改正するとともに、平日ダイヤの微調整を行い、遅延解消を図った。また、80歳以上の高齢者を対象とした「タクシー利用券」配布事業に「市営バス利用券」を追加し、選択制とした。		計画どおり運行されてい る。	В	目標:109,000 実績:96,495(88.5%) ※前年度比85.8% 令和元年10月~令和2年1 月までの利用者数は、前 年比6%増加していたが、 2月以降、新型コロナウイ ルスの影響により減少し た。	80.0	63.4	4.2	15.1	18.7	14.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,500人で全体の9.2%と低い数値となっているものの、愛知医科大学病院のバスロータリーの供用開始に伴い、周辺市のコミュニティバスや名鉄バスと乗り継ぎができ、通院で利用されていることから広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。《幹線的・広域的系統》長久手市Nーバス、瀬戸市コミュニティバス、名古屋鉄道瀬戸線、名鉄バス本地ヶ原線、愛知医科大学病院線	着座を原則として運行している ため乗りこぼしが起こる可能性 がある。そのため、今後、利用 者が増加傾向になるのであれ ば、利用状況に合わせた運行 計画を検討する必要がある。 特定の便に利用が集中し、少 ないながらも乗りこぼしが発生 しているため、ダイヤ設定など 検討する。
05瀬戸・ 日進・豊 明	尾張旭市	豊栄交通㈱	53 尾張旭市 営バス(西 ルート)	市役所~印場 駅~市役所	体日ダイヤを改正するとともに、平日ダイヤの微調整を行い、遅延解消を図った。また、80歳以上の高齢者を募とした「タクシー利用券」配布事業に「市営バス利用券」を追加し、選択制とした。		計画どおり運行されてい る。	В	目標:123,000 実績:108,010(84.4%) ※前年度比82.5% 令和元年10月~令和2年1 月までの利用者数は、前 年比4%増加していた が、2月以降、新型コロ ナウイルスの影響により 減少した。	96.6	73.9	4.9	15.1	20.1	16.3	市を跨ぐ利用者は、月平均2,182人で全体の12%と低い数値となっているものの、愛知医科大学病院のパスロータリーの供用開始に伴い、周辺市のコミュニティバスや名鉄パスと乗り継ぎができ、通院で利用されていることから広域的な路線の役割を果たしていると考えらえる。《幹線的・広域的系統》長久手市Nーバス、瀬戸市コミュニティバス、名古屋鉄道瀬戸線、名鉄バス本地ヶ原線、愛知医科大学病院線	着座を原則として運行している ため乗りこぼしが起こる可能性 がある。そのため、今後、利用 者が増加傾向になるのであれ ば、利用状況に合わせた運行 計画を検討する必要がある。 特定の便に利用が集中し、少 ないながらも乗りこぼしが発生 しているため、ダイヤ設定など 検討する。
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	知多乗合㈱	知多乗合㈱	37 半田·常滑 (A)	知多半田駅~ 常滑駅	沿線の常滑市では高齢者 を中心とした運賃助成制 度を試行的に開始した。ま た、半田市では路線図・時 刻表を新規作成し、全戸 配布やホームページ掲 載、沿線施設への設置、 民間広報誌への掲載など を行い周知に努めた。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	А	目標:54,200 実績:60,088(110.9%) ※前年度比107.6% 2020年4月1日より、常滑 市路線パス運賃助成事業 を開始したことにより、利 用者数が増加したと考え られる。	25.2	34.8	5.8	6.0	55.7	72.8	市を跨ぐ利用者は、月平均1,302人で全体の46%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。半田市西部からの通動、通学旅客が常滑駅で鉄道線へ乗り換えるケースが見受けられる。 《地域的・フィーダー的系統》(知多乗合)常滑南部線、(半田市)ごんくる青山・成岩線、半田中央線(武豊町)赤ルート	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線市の常滑市では、路線バス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	知多乗合㈱	知多乗合㈱	38 半田·常滑 (D)	知多半田駅~ 中部国際空港	沿線の常滑市では高齢者を中心とした運賃助成制度を試行的に開始した。また、半田市では路線図トラ製表を新規作成し、全戸配布やホームページ掲載、沿線施設への設置、民間広報誌への掲載などを行い周知に努めた。	В	一部区間に運休があった ため、事業計画通りの運 行回数が確保できなかっ た。	В	目標:156,700 実績:139,931(89.3%) ※前年度比95.6% 新型コロナウイルスの影響により、利用者は減少したが、通動旅客は一定数ある。	34.4	34.4	4.3	8.0	66.4	47.7	市境をまたぐ利用者は、月平均 2,790人で全体の28%を占めており、広域的な路線の役割を果たしている。半田市西部からの通勤、通学旅客が常滑駅で鉄道線へ乗り換えるケースが見受けられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (知多乗合)常滑南部線、(半田市)ごんくる青山・成岩線、半田中央線(武豊町)赤ルート	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線市の常滑市では、路線バス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。
06東海· 半田·大 府·常滑· 美浜	知多乗合㈱	知多乗合㈱	39 半田·常滑 (N)	日本福祉大学 ~知多半田駅 ~常滑市民病 院	沿線の常滑市では高齢者 を中心とした運賃助成制 度を試行的に開始した。ま た、半田市では路線図・時 刻表を新規作成し、全戸 配布やホームページ掲 載、沿線施設への設置、 民間広報誌への掲載など を行い周知に努めた。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	Α	目標:54,000 実績:81,333(150.6%) ※前年度比102.8% 2020年4月1日より、常滑 市路線バス運賃助成事業 を開始したことにより、利 用者数が増加したと考え られる。	20.6	23.0	6.4	3.6	80.8	52.1	市境をまたぐ利用が4割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。 半田市西部からの通勤、通学旅客が常滑駅で鉄道線へ乗り換えるケースが見受けられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (知多乗合)常滑南部線、(半田市)ごんくる青山・成岩線、半田中央線、亀崎有脇線(武豊町)赤ルート	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線市の常滑市では、路線パス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。

	①補助	対象事	<u> </u>	事業概要	③前回(又は類似事業)				(〕目標•₹	効果達成	状況					
	業者	等	∠)=	萨未似女	の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 、:達成		輸送			収支率		⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	*************************************				6:未達成 2:目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績		
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	知多乗合㈱	知多乗合㈱	40 常滑南部 (B)	常滑市民病院 ~上野間駅	沿線自治体と連携し、広報等への時刻表の掲載などを行った。沿線の常滑市では高を中心とした運賃助成制度を試行的に開始した。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	Α	目標:41,600 実績:70,828(170.3%) ※前年度比109.8% 2020年4月1日より、常滑市路線バス運賃助成事業を開始したことや、常滑市民病院への速達性等を考慮したダイヤ改正により、利用者数が増加したと考えられる。	17.0	26.0	2.6	10.0	34.9	35.5	市町をまたぐ利用者は月平均372 人で全体の約9%にとどまる。市町 境が終点近くに位置することから、 大半の旅客は常滑市内の利用であ るが、市町境をまたぐ利用が一定 数あり、広域的な路線の役割を果 たしている。 《接続する幹線的系統》 名古屋鉄道常滑線、知多新線、知 多乗合(半田・常滑線)	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線市の常滑市では、路線パス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	知多乗合㈱	知多乗合㈱	41	河和駅~師崎港	沿線の南知多町と連携し HP等に時刻表を掲載するとともに、町内で開催したタウンミーティングでの意見等の情報を共有した。また、通学定期券の販売や町民感謝デーなどを実施した。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	А	目標:88,700 実績:95,858(108.1%) ※前年度比105.9% 南知多町から河和駅への 通勤・通学旅客が増加したものと考えられるが、今 後もより一層、利用促進を 図る必要がある。	49.9	48.1	3.3	14.6	41.5	34.1	町を跨ぐ利用者は、月平均4,960人で全体の69%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。大部分は、鉄道駅(河和駅)の利用や通院・通学、沿線の総合病院への通院と考えられる。知多南部地区の重要な公共交通手段の一つである。 《地域的・フィーダー的系統》 (南知多町)海っ子バス(西海岸線)	2020年度中にホームページの 刷新を行い、利用者の利便性 向上に関する取組を進める。
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	知多乗合㈱	知多乗合㈱	42 横須賀(A)	大府駅前~尾 張横須賀駅	沿線市が運行するバスの 路線図・時刻表に横須賀 線への乗継箇所を掲載 し、広く周知を図った。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	А	目標:85,850 実績:88,839(103.5%) ※前年度比102.1% 沿線施設の利用にあわせ たダイヤ改正を行ったこと により利用者が増加したも のと考えられる。	52.0	50.0	4.0	12.5	79.0	60.7	大府市、東海市ともに高等学校近くに停留所があることや、鉄道駅を結ぶことによる通勤・通学利用者が多い。また、所轄の警察署まで行く手段でもある。 《地域的・フィーダー的系統》 知多乗合(大府線)、東海市循環バス、大府市循環バス	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性に関する取組を進める。沿線の大府市では、循環バスの路線図・時刻表に横須賀線への乗継箇所を明示する、また、東海市ではコミュニティバスの時刻表と合わせて路線バスの時刻表を配布するなど、引き続き利用促進を図る。
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	大府市	知多乗合㈱	43 大府市循 環バス(北 コース)	共和駅東~名 鉄前後駅~共 和駅東	ホームページや広報により、路線改正に伴う利便性向上に関するPRを行うとともに、時刻表を大府市内の公共施設に加えて、沿線の豊明市役所、名鉄前後駅に配架した。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	С	目標: 46,000 実績: 15,837(34.4%) 令和元年10月の路線再編 の影響により、前年度に 比べて利用が減少してお り、さらに新型コロナウイ ルスの影響を受け、大きく 落ち込んだ。	17.0	6.1	0.9	6.8	1	2.3	市を跨ぐ利用者は、月平均240人で全体の12.7%に留まっているものの、JR共和所後駅の駅間利用が一定数とるまたから、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 大府市循環バス、豊明市循環バス	バス車両の更新、バスロケーションシステムの導入、バス情報のGTFS化などの利用促進策を実施していく。また、豊明市では、引き続き、市内の駅・施設等に時刻表を配架する。
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	南知多町	レスクル㈱	59 海っ子バス (豊浜線)	師崎港~河和 駅	ホームページ、広報誌を活用したPR、時刻表の掲載、企画切符の販売、無料デー等を実施するとともに、沿線町営バスとの乗り換え案内など公共交通利用の呼びかけを住民に行った。		事業計画どおり運行回数 が確保されている。	В	目標:72,400 実績:70,733(97.7%) ※前年度比86.8% 新型コロナウイルスの影響により、通学・観光目的での利用が減少したと考えられる。	31.8	24.0	1.5	16.0	34.5	22.3	町を跨ぐ利用者は、月平均2,730人で全体の75%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。町境を超える病院への通院や鉄道駅(河和駅)の利用が多い。 《地域的・フィーダー的系統》(南知多町)海っ子バス(西海岸線)	引き続き鉄道、船舶等の関係 機関と連携して、地域住民の 利用促進が進む取組みが必要 である。

	①補助	対象事	<u> </u>	事業概要	③前回(又は類似事業)				(!	5目標・3	効果達成	状況					
	業者	等	(Z)=	芦禾似女	の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		計画目標指標:利用者数】 ;達成		輸送	量(人)		収支率	枢(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況 				: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績		
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	武豊町	フジキュー 整備㈱	60 ゆめころん (赤ルート)	武豊町役場〜 武豊町役場 【公有民営方式 車両購入の交付対象】(1台)	高齢者無料乗車券や回数 券制度の導入により、利用 定着を図った。また、住民団 体と連携したワークショップ により、認知度向上及び利 用方法の周知に努めた。	Α	補助対象期間の開始日から、天候等による影響以外での運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標: 46,000 実績: 39,436(85.7%) ※前年度比80.1% 令和元年10月~令和2年2 月までの利用者数は、前年 同期比428人増であったが、 その後、新型コロナウイル スの影響により減少した。	35.2	18.4	2.1	8.8	27.0	12.3	路線全体の利用者の2割以上が半田市への乗り入れを行っている。 広域な交通網の形成により、利用者の増加につながるとともに、補助系統に接続するフィーダー系統の利用者が増加した。 《地域的・フィーダー的系統》 武豊町コミュニティバス(青ルート)、武豊町接続タクシー	安全に公共交通を利用できることをPRL、無料乗車券の利用を促すとともに、運転免許証の自主返納を呼びかける。また、ワークショップ等による意見聴取を行い、次期計画の交通網を検討する。沿線の半田市では、公共交通と高齢者運転免許自主返納促進事業をあわせてPRL、利用を促す。
07小牧· 犬山·江 南	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	04 桃山	春日井駅~大 草	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップ等にも本路線の情報を掲載し利用促進に努めた。	А	台風19号による暴風雨の ため6便が運休となった が、それ以外は所定の事 業計画どおりの運行が実 施された。	В	目標:56,400 実績:53,580(95.0%) ※前年度比96.8% 他のパス路線との重複区間がほとんどであり、利用者の需要と路線の供給がミスマッチであると思われ、お客様のニーズに合った路線再編を検討する段階に来ている。	24.4	20.4	3.4	6.1	52.0	43.9	春日井駅及び春日井市中心市街地への移動には近接する他バス路線を利用されているものと思われ、広域幹線としての役割は果たせていない。《地域的・フィーダー的系統》こまき巡回バス(北部東部コース)、かすがいシティバス(東環状線、西環状線、北部線、南部線)	関係市との協議の場を立ち上げ、今後の路線の在り方について、効率的で利便性の高いバス路線網への再編を検討する。
07小牧· 犬山·江 南	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	8 治倉	岩倉駅~名鉄 間内駅	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、引線市のHPへの掲載、沿線地区の回覧等を実施し、本路線の利用促進に努めた。	Α	台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:41,500 実績:29,816(71.2%) ※前年度比74.3% 令和元年10月~令和2年2 月までは前年比107.2%。 停留所の中で、特に既存 住宅の多い藤島団地の通院 など生活の利用者が減少 したと考えられる。	18.0	14.4	1.2	12.0	29.5	18.5	市を跨ぐ利用者は、月平均1,650人で全体の65%を占める。、鉄道駅(岩倉駅)の利用が大部分と考えられる。また、定期利用が少ないために安定した利用を確保するために周知が必要(地域的・フィーダー的系統)こまき巡回バス(南部北里コース、多気・小針コース、春日寺・間内コース)	路線の認識がまだ低いため、 周知活動を更に行うとともに、 利用者ニーズの把握に努め、 鉄道との接続強化を図るなど 適切な運行計画により利用者 の利便性向上に努める。また、 沿線地区への回覧等による周 知・PRを図っていく。
08津島・ あま・弥 富	飛島村	三重交通㈱	55 飛島公共 交通バス (蟹江線)	近鉄蟹江駅前 ~公民館分館	今後のダイヤ改正に向けて、 利用者アンケート等、ニーズ の把握を行った。沿線の弥富 市では、同市コミュニティバス 利用者を対象にしたアンケートを実施し、蟹江線との乗継 状況や評価を把握した。ま た、蟹江町では利用者の利 便性の向上及び安全確保の ため、近鉄蟹江駅前広場の 整備を行っている。	А	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画通りの運行が実施された。	В	目標:162,000 実績:135,993(83.9%) ※前年度比84.3% 令和2年1月までは、利用 者数は前年度より増加していた。新型コロナウイルスの影響により利用者数 は減少したが、学校が再 開された後は、落ち込み が小さかった。	73.0	71.3	4.3	16.6	58.4	51.7	市町村を跨ぐ利用者は、月平均13.234 人でほぼ100%の割合であり、近鉄蟹江 駅からは飛島村及び弥富市への通勤 手段として、飛島村内からは近鉄蟹江 駅への移動手段(主に通勤通学)として 利用されている。適切な地域間公共交 通として機能していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (蟹江町)お散歩バス、(弥富市)きん ちゃんパス	令和2年10月から増便を行い、 利便性の向上を図る。ホーム ページへの掲載、チラシ配布、イ ページへの掲載、チラシ配布、イ イント時におけるPR活動を行 い、利用促進を図る。沿線の弥 富市では、同市コミュニティバス の増便や、GTFSデータの整備に より、乗り継ぎの利便性を向上さ せる。
09刈谷・ 安城・碧 南・西尾 10豊田	知立市	名鉄バス㈱	22 ミニバス(2 コース)	知立駅~三河 八橋駅~知立 駅	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用についての文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。また、豊田市のバスマップにも掲載して利用促進を行った。	В	路線免許の認可が下りるまでの間、運休にした。なお、運休期間は道路運送法第21条で臨時運行した。	В	目標:45,128 実績:33,315(73.8%) ※前年度比69.6% 令和元年10月からの減便 を伴うダイヤ改正、年始以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、利用 者が減少した。利用者の年齢層が高く、通院・買い 物等の利用を控えたと考えられる。	24.5	21.3	2.4	8.9	12.1	9.2	三河八橋駅からの利用者数は、86 人/月と推定される。市町村を跨いでの利用者は3%にとどまっているものの、豊田市から知立市への通勤・通学等の手段として一定の役割を果たしている。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊田市)高岡ふれあいバス	広報、ホームページ等による 利用促進、特に新型コロナウイ ルス感染症防止ポスター等の 周知を徹底し、利用者が安心 して乗車できるよう努める。また、豊田市バスマップに引き続 き当該路線情報を掲載し、利 用促進をしていく。

	①補助	対象事	(O) T	5 ** ## ##	@**C/2/1***/\\\ = **\				(5]目標・3	効果達成	状況					
	業者	等	(∠)=	돌業概要	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 A:達成		輸送	量(人)		収支	率(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況 			E	3:未達成 2:目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	+1 40K)K 496 C O C O	(NIDT XCDO)
09刈谷・ 安城・碧 南・西尾	知 立 市	名鉄バス㈱	23 ミニバス(3 コース)	知立駅~東刈 谷駅~知立駅	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用についての文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画通りの運行が実施された。	В	目標:73,032 実績:61,625(84.4%) ※前年度比85.4% 年始以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者が減少したが、利用者の年齢層が若く、通勤等での利用が多いことから、他のコースと比べて減少幅が小さかったと考えられる。	63.6	55.1	5.2	10.6	26.4	19.8	することが多い。	広報、ホームページ等による 利用促進、特に新型コロナウイ ルス感染症防止ポスター等の 周知を徹底し、利用者が安心 して乗車できるよう努める。
09刈谷· 安城·碧 南·西尾	知立市	名鉄バス㈱	24 ミニバス(4 コース)	知立駅~野田 新町駅~知立 駅 【公有民営方式 車両購助金の交付対象】(1台)	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用についての文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画通りの運行が実施された。	В	目標:38,093 実績:29,097(76.4%) ※前年度比75.5% 令和元年10月からの減便 を伴うダイヤ改正、年始以降の新型コナウイルスの感染拡大により、利用 者が減少した。利用者の 年齢層が高く、通院・買い 物等の利用を控えたと考 えられる。	25.9	20.5	2.1	9.8	9.8	7.6	通院、買い物等で利用することが多い。	ルス感染症防止ポスター等の 周知を徹底し、利用者が安心 して乗車でき、利便性が向上
09刈谷· 安城·碧 南·西尾	安城市	名鉄バス㈱	21 あんくるバ ス(作野線)	新安城駅~新 安城駅	利用促進のためのチラシ 等を配布する際に、おす すめブランを掲載するな とのできるだけ分かりやす く気軽にバスを使ってもら えるように情報提供を行っ た。また、Googleマップの を路検索に対応し、利便 性の向上を図った。	Α	台風19号による暴風雨のため4便が運休となったが、それ以外は運休や大所定の事場ななく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	В	目標:59,000 実績:50,417(85.5%) ※前年度比85.6% 令和2年2月までは前年並 みの利用者数であった	47.6	45.5	6.6	6.9	18.1	16.1	院利用がある。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄パス安城線、刈谷市公共施設連	する知識の向上や利用に対す
09刈谷· 安城·碧 南·西尾	安城市	名鉄バス㈱	20 あんくるバ ス(西部線)	新安城駅~新 安城駅	利用促進のためのチラシ 等を配布する際に、おす すめプランを掲載するな ど、できるだけ分かりやす く気軽にバスを使ってもら えるように情報提供を行っ た。また、Google マップの を路検索に対応し、利便 性の向上を図った。	Α	台風19号による暴風雨のため4便が運休となったが、それ以外は運休や大・ が、それ以外は運休や大・ は遅延もなく、所定の事業計画とおりの運行が実施されている。	В	目標:59,000 実績:50,105(84.9%) ※前年度比82.1% 令和2年2月までは前年並 みの利用者数であった が、同3月以降、新型コロ ナウイルス感染症の影響 により減少した。4、5月は 前年比5割程度であった が、9月には前年比8割程 度まで回復している。	44.8	40.0	5.8	6.9	17.0	14.5	院への通院、市外への買い物のための利用が多いと考えられる。また、刈谷市東部から安城更生病院への通院利用がある。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄バス安城線、刈谷市公共施設連	バスロケーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握や 乗降調査による交通需要の把握を 方のまた、公共交通に関する知識の向上や利用に対す る意識の醸成に向け、モビリ ティ・マネジメントのための資料 を作成し、乗り方教室等の利 用促進策を講じる。
09刈谷・ 安城・碧 南・西尾	名鉄東部交通㈱	名鉄東部交通㈱	46 一色	西尾市民病院 ~一色町公民 館	沿線地域での催事及び道路状況の情報収集に努め、定時運行の確保を図った。沿線の西尾市では高齢者向けに公共交通出前講座、通学定期補助、市内の均一運賃化、佐久島渡船との接続強化などを実施し、バスの利便性向上に努めた。	Α	新型コロナウイルス感染 拡大に伴う緊急事態宣言 の発令を受け、4月下旬から5月末まで、平日の休日 ダイヤ運転を実施した。	В	目標:95,628 実績:76,786(80.3%) ※前年度比87.8% 4月の緊急事態宣言の影響により、利用者が減少したが、一色地区から西尾駅・西尾市民病院や、西尾地区から沿線の一色高校への通学目的で利用されている。	30.5 28.0	29.3 16.4	2.6 1.6	11.3 10.3	60.2	43.7	して佐久島へ向かう観光客や一色地 区と西尾市中心部を跨る利用が多く 見られる。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(寺津線、平坂・中	定時運行の確保や需要に合ったダイヤとするため、自治体との情報交換を密に行う。また、 沿線の西尾市では、イベント・交通安全運動と連携した乗り 方教室や、個人のおでかけに 合わせたマイ時刻表の作成や 乗り方案内等の出前講応の実 施のほか、多言語対応のパン フレットを作成・配布する。

	①補助	対象事	② E	事業概要	③前回(又は類似事業)				()目標・タ	効果達成	状況					
	業者	音等		萨未似女	の事業評価結果の反映	(2	事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 :達成		輸送	量(人)		収支		⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況				: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績		
09刈谷· 安城·碧 南·西尾	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	12 ふれんど バス①	吉良高校~碧 南駅	沿線高校の利便性向上のため、鉄道との乗り継ぎを 考慮したダイヤ改正を 行った。また、沿線市では高齢者を対象とした公共交通に 関する出前講座の実施、 Googleマップへの路線情報反映、沿線高校へバス 通学を促すチラシの配布 等を実施した。	Α	台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標: 181,300 実績: 165,273 (91,2%) ※前年度比93.7% ふれんどパス2系統合算前年 度比104.2% 新型コロナウイルスの影響を 受けて、利用者が減少したも のの、高校への通学目的で の利用が多かった。	44.1	50.0	4.0	12.4	36.2	26.2	期外40.2%の順に多い。沿線の高校への通学利用のほか、碧南駅を利用していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》	通動・通学時間帯に利用が集中することから、令和2年10月、ICカードを導入するとともに、バスロケーションシステムの提供を開始し、乗降時間の短縮と利便性の向上を図る。
09刈谷· 安城·碧 南·西尾	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	13 ふれんど バス②	吉良高校~碧 南高校	沿線高校の利便性向上のため、鉄道との乗り継ぎを 考慮したダイヤ改正を 行った。 また、沿線市では高齢者 を対象とした公共交通に 関する出前講座の実施、 Googleマップへの路線情 報反映、沿線テシンの配布 等を実施した。	Α	台風19号による暴風雨のためででが運体となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	Α	目標:157,900 実績:178,568(113.1%) ※前年度比116.3%ふ れんどパス2系統合算前年度 比104.2% 碧南高校までの延伸により、 通学時の利便性が向上した ことから、通勤・通学時間帯 の利用が増加したと考えられ る。通勤・通学利用者の更な る大幅な増加は見込めず、昼間帯の利用促進が重要。	38.6	49.2	4.9	9.4	34.0	35.2		通勤・通学時間帯に利用が集中することから、令和2年10月、10カードを導入するとともに、パスロケーションステムの提供を開始し、乗降時間の短縮と利便性の向上を図る。
10豊田	名鉄バス㈱	名鉄バス㈱	03 矢並	豊田市~足助	関係市と協力し、時刻表・バスマップの作成、バスロケーションシステムの提供、乗換検索サイトへの情報提供、また、ソンステップバスへの更新等により利用者の利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップ等にも本路線の情報を掲載し利用促進に努めた。	Α	雨量規制による通行止で 15本の運休、及び台風19 号による暴風雨のため16 便が運休となったが、それ 以外は所定の事業計画ど おりの運行が実施された。	Α	目標:121,900 実績:137,578(112.9%) ※前年度比115.4% 豊田市から鞍ケ池東まで の途中系統を令和2年6月 1日ダイヤ改正で減便した ことにより、本系統に利用 者が流入し、定期外及び 通勤利用者が増え、全体 でも増加した。	51.9	53.1	4.5	11.8	45.7	45.9	豊田市と旧足助町を跨ぐ利用者は、月平均1,680人で全体の15%を占める。その内訳は、現金・ICSF(定期以外)55.4%。通学定期35.7%の順に多い。鉄道駅や中心市街地部への利用が大部分と考える。通学利用の比率が高く、豊田市中心部から足助地区への通学利用も多い。《地域的・フィーダー的系統》おいでんパス(旭・足助線、稲武・足助線、さなげ・足助線)	競合関係にある他路線との役割分担を明確にした上で、生活路線と観光路線の性格を併せ持つことを念頭に、利用実態に合わせた運行計画・利用促進を行う。また、高齢者用定期券ゴールド・シルバーパスのPRを積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図る。
10豊田	豊田市	名鉄バス㈱	17 おいでんバ ス(旭・豊田 線)	小渡〜豊田市 【公有民営方式 車両購免の で付対象】(1台)	交通系共通ICカードのOD データ取得による利用実 態の把握と沿線やなでの 飲み物サービスや、1日乗 車券の販売を実施した。 また、「広瀬」バス停での 乗り継ぎを考慮した他路 はにダイヤ改正を検討した。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:91,817 実績:77,248(84.1%) ※前年度比80.9% 令和2年6月以降の利用者 は回復傾向にあるもの の、他路線と比較するそ回 復率が低い。在宅勤利用客の 減少や沿線の観光地への 外出機会の減少が要因 ーつとして考えられる。	33.7	27.2	2.5	10.9	26.6	14.1	外から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。また、広瀬バス停で乗降する利用者も一定数あり、バスを乗り継ぐ利用者がいると思われる。 《地域的・フィーダー的系統》 旭地域バス、小原地域バス、石野	運行しており、こうした環境を 生かした利用促進策を講じる 必要がある。
10豊田	豊田市	名鉄バス㈱	18 おいでんバ ス(小原・豊 田線)	上仁木〜豊田市 【公有民営方式 車両購入金の交 付対象】(2台)	交通系共通ICカードのOD データ取得による利用実態の把握。 また、1日乗車券を販売 し、観光客のバス利用促進を図った。 その他、バス情報のGTFS 化を行った。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:199.638 実績:157,711(79.0%) ※前年度比79.3% 令和2年6月以降の利用者 数のは回復傾向にあるも のの、他路線と比較すると 回復率が低い。通勤・通 学時間帯は昨年度並みに 回復しているものの、夜間 帯の利用者の減少が見ら れる。	80.0	63.8	5.5	11.6	51.5	31.7	と低い数値にとどまっているものの、加茂丘高校〜四郷間の利用が非常に多く、通勤・通学手段だけでなく鉄道への乗継としても重要な役割を果たしている。 《地域的・フィーダー的系統》	上仁木〜加茂丘高校間は利用者 が少なく、平日では日中時、休日 では1日通して利用者が少ないため、鉄道駅への接続(愛知環状鉄 道梅坪駅)と四郷地区区画整理に 対応した経路の検討を行う。また、 新型コロナウイルス感染症の感染 状況を考慮しながら、令和2年度の 取組でもある小原四季桜まつり期間中の増便や1日乗車券の販売な どの利用促進策を検討する。

	①補助	対象事	② ₃	事業概要	③前回(又は類似事業)				(別目標・落	効果達成	大沢					
	業者	等	2 =	F 木 1 似 女	の事業評価結果の反映状況	(④事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 :達成		輸送			収支		■ ⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	1人:九				5:未達成 2:目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密		R1 実績	R2 実績		
10豊田	豊田市	名鉄バス㈱	19 おいでんバ ス(藤岡・豊 田線(西中 山経由))	藤岡中学校前 ~西中山~豊 田市	交通系共通ICカードのOD データ取得による利用実態の把握。 また、1日乗車券を販売 し、観光客のバス利用促 進を図った。 その他、バス情報のGTFS 化を行った。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:117,354 実績:91,734(78.2%) ※前年度比79.7% 6月以降の利用者数は前年度比約8割まで回復しており、公共交通機関の利用が必要不可欠である学生の利用が多いことが伺える。	48.6	30.4	4.0	7.6	62.4	30.1	豊田市と旧藤岡町を跨ぐ利用者は、月平均7,192人で全体の66.9%を占めている。「加茂丘高校」での乗降が多く、通学に利用していることがうかがえる。また、「梅坪駅」「四郷」「豊田市」バス停での乗降も多く、鉄道へ乗り継ぎをしていると思われる。 《地域的・フィーダー的系統》藤岡地域バス	鉄道駅への接続と四郷地区区 画整理に対応した路線の検 討。 新型コロナウイルス感染症の 感染状況を考慮しながら、令和 2年度の取組でもある、1日乗 車券の販売などの利用促進策 を検討する。
10豊田	豊田市	豊栄交通㈱	51 おいでんバ ス(さなげ・ 足助線)	豊田厚生病院 〜百年草 【公有民営方式 車補助金の分割 付対象】(3台)	交通系共通ICカードのOD データ取得による利用実 態の把握を行った。 また、1日乗車券の販売 や沿線の広瀬やなでのバ ス利用者に対する飲み物 サービスを実施し、利用促 進に努めた。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:195,366 実績:142,239(72.8%) ※前年度比70.9% 6月時点で利用者数は8割程まで回復しており、他路線と比較すると早い回復であり、日常生活を送る上で公共交通機関の利用が必要不可欠である学生や高齢者の利用が多いことが伺える。	79.8	65.2	4.0	16.3	29.5	30.0	市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。また、近年は市中心部から足助地区の高校へ通学する利用者も増えている。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊田市)保見地域バス、(豊田市)	鉄道駅との乗継の利便性を高めるダイヤ改正及び車両の中型化を実施予定。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、令和2年度の取組でもある、沿線広瀬やなでの飲み物サービスの実施や1日乗車券の販売などの利用促進策を検討する。
10豊田	豊田市	豊栄交通㈱	50 おいでんバ ス(下山・豊 田線)	大沼〜豊田市 【公有民営方式 車両購免の交 付対象】(1台)	交通系共通ICカードのOD データ取得による利用実 態の把握を継続して実施 するとともに、9月から1日 乗車券を販売し、観光客 のバス利用促進を図っ た。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:137,257 実績:120,900(88.1%) ※前年度比77.7% 6月時点で利用者数は前年度 比約8割と、他路線と比較して 七早い回復であり、学生の利 用が多いことが伺える。実 際、沿線高校に通う学生が利 用する「鵜ヶ瀬」バス停の利 用者は、前年より増加してい る。	68.4	74.2	6.4	11.6	50.1	48.1	豊田市と旧下山村を跨ぐ利用者は、月平均3.472人で全体の25.1%を占めている。「鵜ケ瀬」バス停や「豊田市」バス停の利用が多く、通勤・通学手段として利用されていることがうかがえる。《地域的・フィーダー的系統》(名鉄バス)矢並線、(豊田市)とよたおいでんバス(旭・豊田線、藤岡・豊田線、保見・豊田線など)	利用者の増加を目指すため、 通勤、通学等の日常利用以外 の観光目的での利用を促進し ていく必要があり、新型コロナ ウイルス感染症の感染状況の 考慮しながら、令和2年度の取 組でもある、1日乗車券の販売 や沿線の松平郷などの観光地 と連携した利用促進策の検討 を行う。
10豊田	豊田市	豊栄交通㈱	49 おいでんバ ス(藤岡・豊 田線(加納 経由))	藤岡支所~豊田市	交通系共通ICカードのOD データ取得による利用実態の把握を継続して実施するとともに、9月から1日乗車券を販売し、観光客のパス利用促進を図った。また、交通結節である藤岡支所の整備を行った。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおり の運行が実施された。	В	目標:117,354 実績:80,410(68.5%) ※前年度比76.5% 6月以降の利用者数は回復傾向にあるものの、他路線と比較し利用者の回復率が少ない。在宅勤務が普及したことによる通勤利用客の減少客の利用減少が伺える。	46.3	35.0	3.1	11.3	35.5	30.4	を占めている。市郊外から市中心部への通勤・通学手段として利用されている。また、昼間時においても、市郊外から市中心部への利用が一定数みられ、生活交通として重要な役割を果たしている。《地域的・フィーダー的系統》藤岡地域バス	和2年度の取組でもある、1日 乗車券の販売や地域医療セン
10豊田	みよし市	愛知つばめ交通㈱	56 さんさんバ ス(交流路 線)	黒笹駅〜明知 下公民館	利用実態に合った柔軟な 運行計画を行うとともに、 豊田市バスマップ及び豊 田厚生病院内設置の情報 案内板にバス情報を掲載 して利用促進を行った。令 和2年3月に地域公共交通 計画を策定した。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行ができた。	В	目標:137,549 実績:120,981 (88.0%) ※前年度比80.4% 新型コロナウイルス感染症の影響により、春先は 利用者が例年の半数以下 となった。高齢者の通院目 的での利用が減少したこ とが要因の一つと考えられる。	71.3	50.6	4.4	11.5	25.6	18.0	中を野、利用有は月平均1,130人で全体の約1割強を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 みよし市民については豊田厚生病院への通院及び浄水駅の利用が多く、豊田市民もみよし市内の商業施設への移動のために利用していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (名鉄バス)星ヶ丘・豊田線 (豊田市)おいでんパス、(豊田市)高 岡地域パス	利用者の利便性が向上する運行に努めていく。令和4年度に路線再編を予定し、さらなる利便性の向上を行う。

	①補助	対象事	<u></u>	事業概要	②並同/又は叛仰事業)				(5 目標・	効果達成	状況					
	業者	者等	(2)=	事 耒慨安	③前回(又は類似事業) の事業評価結果の反映	(④事業実施の適切性		【計画目標指標:利用者数】 、: 達成		輸送	量(人)		収支	率(%)	⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【交通圏】	運営 主体	運行 事業者	系統名	運行区間	状況			В	: 未達成 : 目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 乗車密	(運行 回数)	R1 実績	R2 実績	+1 4水バイルにこう C 47 区口1	(1007-2007)
10豊田	みよし市	愛知つばめ交通㈱	57 さんさんバ ス(生活路 線)	黒笹駅~福田 児童館	利用実態に合った柔軟な 連行計画を行うとともに、 豊田市バスマップ及び豊 田厚生病院内設置の情報 して利用促進を行った。 和2年3月に地域公共交通 計画を策定した。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行ができた。	Α	目標: 107,549 実績: 108,975(101.3%) ※前年度比81.4% 目標は達成したものの、 前年度と比べて利用者数 が減少しており、新型コロ ナウイルス感染症の影響 により、高齢者の通院目 的での利用が減少したこ とが要因の一つと考えら れる。	58.6	44.9	3.9	11.5	21.4	16.3		利用者の利便性が向上する運行に努めていく。令和4年度に路線再編を予定し、さらなる利便性の向上を行う。
10豊田	豊田市	高岡ふれあいバス	58 高岡ふれ あいべス (路線②)	上丘町~知立 駅	前林地域全戸アンケート結果等を踏まえ、土橋駅又は市中心部への延伸、基幹パス化などの方向性について検討した。また、知立市では、ミニパスガイドにおいて、同路線に接続可能であることを継続的に記載した。	Α	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:119,839 実績:86,946(72.6%) ※前年度比73.1% 近年利用者数は減少傾向にあり、利用者の多くを占めている通勤・通学利用者の移動形態の変更や少子化に伴う通学者の減される。	41.7	31.6	2.2	14.4	27.0	25.5	市を跨ぐ利用者は、1日平均222人で全体の93.0%と利用者の大部分を占めている。通勤・通学や通院・買い物等の手段として重要な役割を果たしていると考えられる。 《広域的・幹線的系統》 名古屋鉄道、(豊田市)高岡ふれあいバス、(知立市)ミニバス	土橋駅又は豊田市市中心部へ の延伸、基幹バス化等の方向 性及び道路渋滞等の現状を踏 まえ、ふれあいバス路線全体 のルート・ダイヤ等の改編を 行っていきたい。
11新城	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	28 作手	新城富永~作 手高里 【車両減価償却 費等国庫補助 金の交付対象】 (新城営業所に 3台他系統と共 通)	所に駐輪場を設直した。 新城市と協力してバスマップを発行し全戸配布による周知を図った。	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	А	目標:51,359 実績:56,127(109.3%) ※前年度比85.1% 前年度に比べて利用者が 減少した理由は、高校の 休校によるものと考えられ る。	21.9	23.0	3.9	5.9	38.7	89.2	占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。治線学校への通学利用や新城市民族院への通院、鉄道駅(新城駅)の利用が大部分と考えられる。《地域的・フィーダー的系統》(新城市) Sバス(つくであしがる線、守義線、北部線、西部線、中宇利	令和3年3月のパスロケーションシステムの導入に合わせて、GTFS化を行い、利便性向上を図る。今和元年10月から作手地区内でデマンド型区域運行のコミュニティバスを運行開始し、接続する作手線の沿線人口の増加と乗り継ぎの利便性が向上したため、利用者への一層の周知を進めていく。
11新城	豊鉄バス㈱	豊鉄バス㈱	29 新城上平 井田口	新城病院前~ 田口 【車両減価償却 費等国庫補助 金の交付対象】 (新城営業所に 3台他系統と共 通)	車回数券、元気パス(高齢者 用定期券)、定期券補助制度 を継続した。新城市ではバス	Α	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	В	目標:42.633 実績:32,662(76.6%) ※前年度比66.0% 通勤・通学の利用者も減っ ているが、定期外収入が前 年比45.1%と大きく減少して いる。これは、新型コロナウ イルスの影響で、買い物等 外出を控えたことによるもの と考えられる。	17.3	15.4	2.0	7.7	36.8	26.7	新城市、設楽町を跨ぐ利用者は、月平 均2,895人で全体の73,9%を占めてお り、広域的な路線の役割を果たしている と考える。沿線学校への通学利用や新 城市民病院への通院、鉄道駅(本長篠 駅)の利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (新城市) Sバス(北部線、布里田峯線、 西部線、吉川市川線、中宇利線、秋葉 七滝線、長篠山吉田線、塩瀬線)、設楽 町おでかけ北設(津具線)	て、GTFS化を行い、利便性向上を図る。 また、沿線市町では、高速バス と連携した旅行プランの造成 やパス停までの移動手段の確

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年 1月18日

協議会名:	愛知県バス対策協議会
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	鉄軌道網の整備が進み基幹的公共交通網は維持されているが、自動車分担率が高い地域であることを踏まえた上で、複数市町村を跨ぐ広域的・幹線的な公共交通網の維持・確保を図る。 実施に当たっては、乗合バス事業者等運営主体と沿線市町村が協力して目標設定、利用促進、利便性・生産性向上検討を行い、事業評価にあたっても、運営主体、沿線市町村が情報交換、意見交換を行って、路線の状況を共有化。